

ICU 高校生の活動を サポートしてください



2024 年 11 月
国際基督教大学高等学校
校長 中島 裕一

お健やかに過ごしのことと存じます。いつも ICU 高校を応援してくださり、心より感謝申し上げます。コロナ禍の停滞を打ち払うかのように、生徒の活動が一気に花開く日々です。毎週、校内でさまざまな講演会やワークショップが開催されています。生徒の自主的な企画も多く行われ、学校全体が活気に満ちています。この夏も、国内外で6つのスタディツアー、またクラブ合宿もほぼ通常どおりに行われました。海外では、例年のベトナム・ツアーに加えて、カンボジアの村の小学校で子どもたち 2 百名と運動会を開いて楽しみました(22 名参加)。昨年始めた瀬戸内のハンセン病療養所を訪ねるツアーの行き先に広島を加え、原爆ドームや平和記念資料館を見学しました(18 名参加)。



コロナ禍に卒業した 41 期と 42 期生を、3 月 18 日にホームカミングとして学校に招待しました。多くが、いま大学 4 年生と 3 年生になります。卒業式に保護者を招くことができず、卒業記念パーティーも催すことができなかつたため、保護者さまも共にお迎えして、成人式のお祝いも兼ねてささやかな会を催したものです。チャペルで聖書を読み、短く話をし、共に祈り、校歌を歌いました。卒業生の一人が「私は国立大学に進んだためこのような機会がまったくなく、久しぶりに新鮮でした。心に染みしました。」と話してくれました。嬉しく感じました。



ICU は、たくさんの人々の思いと、時代の大きな流れの中で、ストーリーを持って創立された学校です。ICU は、東京ドーム 13 個分という広大なキャンパスを有しています。ここには戦前、日本の軍用機・エンジンのトップメーカーの中島飛行機株式会社三鷹研究所が置かれていました。1941 年 12 月 8 日、日本軍の真珠湾攻撃とヒトラーのモスクワ攻撃放棄の指令の日、ここで地鎮祭が行われています。アメリカ本土爆撃のための巨大爆撃機のエンジンも、ここで研究と開発が行われていました。戦後、やがて、日本のキリスト教界と北米プロテスタント諸教会関係者の間で、平和の砦となるキリスト教大学をつくろうという動きが高まります。キリスト教界だけでなく幅広い人々から募金が寄せられました。一万田尚登日銀総裁が国際基督教大学建設後援会の会長になり、相談役には首相や衆参両院議長が就任するなど、そうそうたる顔ぶれが名を連ねています。特筆すべきは、日本国内で草の根の募金活動が起こったということです。ある地域の公立高校では生徒 1 人につき 10 円を目指して募金が行われたとか、早稲田大学の学生がその日のバイト代を寄付したとか、小学生がおやつ代を我慢して寄付したとか。こうしてこの広大な校地が購入され、かつての「軍事産業の砦」が「平和の砦」ICU に生まれ変わったのです。大学は 1953 年に献学されました。

ICU 高校は、日本で初めての「帰国子女受入れを主たる目的とする高校」として、1978 年に創設されました。1970 年代に日本企業の海外進出に伴って海外で育った帰国子女が増加し、その教育が社会的な課題として浮かび上がりました。文部省と呼応して、学校法人国際基督教大学が名乗りを上げて帰国生受入れの専門校を創設しました。この経緯を指して元校長の桑ヶ谷森男先生は、「**私立ですが「国民立」とも言える性格を持っている**」と述べています。同じキャンパスにありながら、大学が高いミッションを掲げて献学されたのに対し、高校はそれを土壌としながらも、人々のニーズに応えるために建てられました。

ICU 高校の建学の精神は、平和と人権、そしてそれを支えるキリスト教です。私たちは、平和と人権という深く大きな使命を与えられています。この二つを追求するための基盤、アンカーとして、キリスト教に基づく教育を行います。このスクール・ミッションのもとに学ぶ ICU 高校生には、戦争や地域紛争、自然災害や環境破壊、貧困など、世界が直面する情勢の中で、苦難を強いられている人々を共に覚えてその人たちの隣人となる勇気と、解決のための知恵を育まれるようにと、式典のたびに声に出して祈ります。

卒業生の皆さまに今年もご紹介したいことがあります。本校独自の「国際基督教大学高等学校奨学金」は、家計の急変により学校生活の継続が困難になった生徒を対象に、授業料の6学期分を上限として給付するものです。保護者の方の急逝によりこの奨学金を必要とする生徒が毎年のようにおります。

さらに、本校卒業生保護者及びそのご家族の篤志により2022年度から8年間にわたり設定されている「喜吉フォワード奨学金」を、別紙でご紹介します。これまでも想定を上回る多くの皆さんのICU高校就学をひらいてきました。

卒業生の皆さまにお願いです。校内では毎週のようにGLP講演会・ワークショップ、キリスト教講演会や図書館講演会、SGH記念講演会等が開催されています。お預かりするサポート募金は、これらのイベント

の講師招聘に充てさせていただきます。その他の用途も、本校HPにて毎月ご報告しております。

また、国内外スタディツアーの充実を図ります。これまで学校予算で行ってきた国内外スタディツアーの生徒参加費補助と、家計急変時の奨学金による支援をさらに手厚く継続できるようにサポートしてください。また、「喜吉フォワード奨学金」を、予定の年限が終了した後も続けていけますよう、こちらの奨学金の原資への組み込みをご指定いただくこともできます。本校HPのサポート募金サイトにて、寄付目的として「喜吉フォワード」をお選びください。

卒業生の皆さまが本校において経験されたさまざまな学びやプログラムが、これからも家計の経済状況に関わりなく、希望する多くの多様な方々に届くよう皆さまのご支援をお願いします。



※本校HPからクレジットカードでご寄付いただけます。クレジットカード決済でお申込みいただいたご寄付の領収書の日付は、申込日ではなく、クレジットカード会社からICU高校に寄付金の入金があった日付となります。そのため、お申込みが12月1日以降になりますと、領収書の発行日付が翌年になり、寄付金控除も翌年の対象になります。12月1日以降のお申込みで、今年の寄付金控除をご希望の場合は、銀行または郵便局でのお振込みをご利用ください。

ICU高校HP寄付サイト
<https://icu-h.ed.jp/donation/>



2024年度教員一同

Facebook (ICUHS Hodgepodge)
<https://www.facebook.com/icuhs.hodgepodge/>



ICU高校 School Now!
https://icu-h.ed.jp/school_now/

